

# 3 日間コース プログラム内容 経営基礎 8/4(月)～6(水)

日程	時間割	テーマ	講師
8/4 (月) 1日目	13:00～14:00	<b>【オリエンテーション】</b> 自己紹介などを通じ、研修を有意義なものにするために受講目的を明確化する。	事務局 (アグリフューチャー・ジャパン)
	14:00～15:15	<b>【次世代の農業者への期待について】</b> 食品関連企業のトップとして活躍した浦野相談役から、農業界を取り巻く環境と、その中で活躍できる次世代農業者への期待を聞き、将来設計を考える。	(株)ニチレイ 相談役 浦野 光人 氏
	15:30～16:45	<b>【農業経営者に必要な姿勢とビジョンに関する講義】</b> 地域農業のリーダーとして活躍する伊藤代表から、農業経営者が人を巻き込み地域を活性化させるために必要な姿勢やビジョンについて学ぶ。	(株)米沢郷牧場 代表取締役 伊藤 幸蔵 氏
	17:00～18:30	<b>【農業経営者に必要な知識に関する講義】</b> 経営戦略、マーケティング等、経営力向上に必要な基礎的な知識について学ぶ。	事務局 (アグリフューチャー・ジャパン)
8/5 (火) 2日目	<b>先輩農業者の取組事例について学ぶ</b>		
	9:00～10:15	<b>【仲間と協力し販路拡大、輸出に挑戦！】</b> 本セミナー先輩参加者から、セミナーで得たものを活用して実際に何が出来るかについて学ぶ。	ブレンドファーム 白岩千尋氏・渋谷昌樹氏
	10:30～11:45	<b>【農業未経験の若い世代でチャレンジする「みんなが喜ぶ農場作り」】</b> 農業未経験からスタートした社員らと共に、農地と雇用を守るため“地域に喜ばれる企業”をめざす取組みから学ぶ。	農事組合法人ベジアーツ 山本 裕之 氏
	12:45～14:00	<b>【米、麦栽培の栽培からマルシェ、イベントを通じた販売活動の実践】</b> 介護関係の仕事を経験した後、家業の米・麦栽培に取組む。農業に携わるようになったきっかけや異業種の経験を通じて、学んだ事も含めて紹介頂く。	農業工房かべっこ 六車 拓哉 氏
	14:15～15:30	<b>【家族経営こそ、農業の基盤。生産から加工、販売、レストラン事業の展開へ】</b> 家族労働力で肉用牛を中心に、水稲、花卉、農家レストランと4部門の多角経営を実践。経営条件を活かした取組みについて学ぶ。	イーグルファーム 鷲頭 将治 氏
15:45～17:30	<b>【グループワーク・セルフワーク】</b> 本日までの学び(気づき)をグループワークでまとめ、グループ単位での発表を通じて参加者同士で共有し、その上で、農業で実践したい目標や目的を新たに考え設計してみる。	事務局 (アグリフューチャー・ジャパン)	
8/6 (水) 3日目	<b>就農後目指す農業経営のビジョンを発表する</b>		
	9:00～10:15	<b>【農業の現状と農業者に求められる力に関する講義】</b> 就農を目指し取り組むにあたり、農業経営者として求められる能力について学ぶ。	日本農業経営大学校 岸 康彦 校長
	10:30～11:45	<b>【農業経営のビジョンを発表】</b> 就農後、どのように農業に取り組むのか？自らが農業を営む目的やビジョンについて発表する。	事務局 (アグリフューチャー・ジャパン)
11:45～13:00	<b>【修了式】</b>		

e-ラーニング	本セミナーは、集合研修とe-ラーニングを組合せて構成されます。受講者の方には、当法人のe-ラーニングの内、以下のコンテンツを視聴していただきます。		※お申込み時にe-ラーニングのアカウントを発行いたします。
	事前課題	農業経営を取り巻く環境を考える	研修前の事前課題として設定 岸 康彦 校長
	事後課題	自らの農業経営の目標を設定する	3日間で学んだ内容を元に、「地域の活性化」「企業の経営」「グリーンツーリズム」などのコンテンツから選択受託し、「自身が目指す農業とそれに達成するための道のり」についてレポート提出。 AFJスタッフ

### 講師陣のご紹介

**山本 祐之 氏** 農事組合法人ベジアーツ 代表理事  
1979年生まれ。妻と子供が3人。学生時代は法律を学び一般企業に就職するも、父親に呼び戻され家業である北佐久園芸(株)農場部門に勤務する。2010年、北佐久園芸(株)の直営農場を代表として引き受け、社名をベジアーツとし経営を開始。「農業をもっと楽しく・野菜をもっと美味しく」をモットーに、14名のスタッフとともに、レタス、キャベツ、白菜等葉菜類を中心に20haほど栽培する。

**六車 拓哉 氏** 農業工房かべっこ  
農業高校卒業後、専門学校で資格を取り介護関係の仕事につく。その後体調を崩した事をきっかけに、家業の農業に関わる。現在、家族とともに水稲、麦の栽培に取り組む。その他マルシェやイベントを通じた販売活動も行っている。

**鷲頭 将治 氏** イーグルファーム  
1976年大分県生まれ。大学卒業後就農。現在、肉用牛勉強会グループカブライフ、飯田高原が好きな若者のグループtanariに所属。大分県立玖珠農業高等学校の非常勤講師、農業大学の外部講師や、地元ラジオ番組、テレビ出演を通して農業の現場の声を届ける活動も行っている。

**岸 康彦 氏** 日本農業経営大学校 校長  
日本経済新聞社論説委員を経て、愛媛大学農学部教授に就任。その後、大日本農会理事、日本農業研究所理事長に就任した。日本農業経営大学校校長。

**浦野 光人 氏** (株)ニチレイ 相談役 一般社団法人アグリフューチャー・ジャパン 代表理事  
1971年日本冷蔵(現ニチレイ)へ入社。2001年同社代表取締役社長就任、2007年より同社代表取締役会長就任。2013年より相談役。経済同友会 低炭素社会づくり委員会委員長、文部科学省中央教育審議会委員、社団法人日本冷凍食品協会 会長、など歴任する。

**伊藤 幸蔵 氏** (株)米沢郷牧場 代表取締役  
山形県にて有機農法と畜産の複合経営を行う米沢郷グループの代表を務める。1995年には農業生産法人、有限会社ファーマーズクラブ赤とんぼを設立。地域の農業者達の連携を進め、リーダーとして活躍している。

**白岩 千尋 氏** ブレンドファーム/白岩恒美農園  
1980年生まれ、4年前営業管理職の立場より父親の怪我をきっかけに就農。栽培面積は4.5ha、栽培品目は梨、ぶどう、メロン、が主な栽培品目。農業経営力養成講座で出会った仲間とブレンドファームを立ち上げ現在営業統括として主に新規開拓、契約販売に取り組む。

**渋谷 昌樹 氏** ブレンドファーム/(株)渋谷農園  
1983年生まれ、8年前大学卒業後、学生が就職したい業種にしたいという思いから就農。主に九条ねぎ、万願寺とうがらし、など野菜類が主要栽培品目。2年前より農業経営力養成講座で出会った仲間とブレンドファームを立ち上げ、代表としてチームをまとめながら野菜の生産に取り組む。

これからの農業界をリードする人材を育てる

定員 各80名

# 農業経営力養成講座

次世代の農業経営者とともに・・・

最先端の経営ノウハウを学ぶ！  
農業の新しい可能性に気付く！  
自らの経営ビジョンを描く！



## 経営基礎 3 日間コース

[e-ラーニング併用]

期間 平成26年 8/4(月)～8/6(水)

会場 LMJ東京研修センター 特大会議室  
東京都文京区本郷1-11-14 (小倉ビル2階)  
JR線「水道橋駅」東口より徒歩6分  
地下鉄三田線「水道橋駅」A6出口より徒歩3分

セミナー受講費	3日間コース			7日間コース			スポット参加		
	学生	5,000円	10,000円	2,000円/1日	10,000円	20,000円	2,000円/1日	5,000円/1日	5,000円/1日

## 経営実践 7 日間コース

期間 平成26年 8/23(土)～8/29(金)

会場 共和会館  
東京都台東区柳橋1-2-10 3階  
JR総武線「浅草橋駅」東口より徒歩3分  
地下鉄都営浅草線「浅草橋駅」A1出口より徒歩3分

※上記受講費には、受講者の食事代金ならびに宿泊施設から会場までの交通費は含まれません。  
※宿泊先の提供と宿泊にかかる費用は当法人にて負担します。(スポット参加のそく)  
※本セミナーの受講対象者は高校生以上となります。

# 7 プログラム内容 経営実践

日間コース 8/23(土)～29(金)



日程	時間割	テーマ	講師
8/23 (土) 1日目	農業経営者の役割や求められる能力と事業環境分析を学ぶ		
	13:00～14:30	【オリエンテーション】 自己紹介などを通じ、研修を有意義なものにするために受講目的を明確化する。	事務局 (アグリフューチャージャパン)
	14:45～16:15	【農業経営者の役割や求められる能力とは】 次代を担う農業経営者の育成に注力し、「儲かる農業」を掲げている嶋崎社長から、農業経営者の役割や求められる能力について学ぶ。	有限会社トップリバー 嶋崎 秀樹 氏
	16:30～18:00	【農業を取り巻く事業環境分析】 経営戦略を策定する上で、まずはSWOT(強み・弱み)分析等事業の環境分析の手法について学ぶ。	事務局 (アグリフューチャージャパン)
8/24 (日) 2日目	農業を取り巻くマクロ環境と、農業経営者に求められる経営力を学ぶ		
	9:00～12:30	【農業を取り巻くマクロ環境】 農業経営者として広い視野を身につけるため、国内外における農業環境を取り巻く概況について学ぶ。	宮城大学 教授 三石 誠司 氏
	13:30～17:30	【農業経営者に求められる経営力 ～マーケティングと経営戦略～】 流通経済研究所の理事長で、流通・経済分野の第一人者である上原教授より、これからの農業経営者に必要な経営戦略・マーケティングの基礎について講義を通して学ぶ。	明治大学専門職大学院 教授 上原 征彦 氏
8/25 (月) 3日目	様々な農業経営者から経営のありかたについて学ぶ(農業力)		
	9:00～10:45	【採卵鶏を中心とした大規模法人経営】 創業以来こだわってきた「マーケット主義」のもと、生産、流通、販売を一貫して行う取組みと合わせ、経営内の様々な資源に価値を見だし展開する経営スタイルから学ぶ。	有限会社横浜ファーム 代表取締役 笠原 節夫 氏
	11:00～12:45	【仲間と共に地域を盛り上げる取組み】 50haを超える栽培地で、協業経営を行い、直売店の建設、観光部門の導入などにより経営の充実を図りつつ、地域を盛り上げていく取組みから学ぶ。	農事組合法人 世羅幸水農園 組合長理事 原田 修 氏
	13:45～15:30	【水田単作地帯で、家族経営を主体に循環型農業、乳製品の加工販売等多角的に展開する経営】 新潟で、酪農生産部門「フジタファーム」、稲作生産部門「米工房いわむろ」、乳製品加工販売部門「レガーロ」の3法人を設立し、連携を図り地域を活性化する取組みから学ぶ。	フジタファーム・米工房いわむろ 代表取締役 藤田 毅 氏
	15:45～18:00	【グループワーク：SWOT分析実習】 グループで本日の講師から1名を選びSWOT分析を行う。	事務局 (アグリフューチャージャパン)

日程	時間割	テーマ	講師
8/26 (火) 4日目	流通の現場における先進事例視察		
	8:30～18:00	調整中(都内のスーパーマーケット店舗視察を予定)	調整中
8/27 (水) 5日目	農業を取り巻く社会と周辺産業について学ぶ(社会力)		
	9:00～10:45	【流通・販売の可能性について考える～「満足して買ってもらう」仕掛け作り】 国内百貨店有数の食料品の実績を持ち、独自の食材発掘・商品開発に基づく物産展等イベント企画にも定評がある東武百貨店から、高付加価値商品を満足して買ってもらう仕組み作りについて学ぶ	(株)東武百貨店 取締役 食品部長 定方 郷 氏
	11:00～12:45	【流通・販売の可能性について考える～「届ける」仕掛け作り】 生協(コープ)の宅配サービスであり、独自の検査方法や高い品質管理ノウハウを持つパルシステムから、安全・安心な食品を「届ける」仕掛け作りについて学ぶ。	パルシステム生活協同組合連合会 事業広報部長(元 産直推進部 部長) 高橋 宏道 氏
	13:45～15:30	【流通・販売の可能性について考える～「生産者が直接販売する」仕掛け作り】 農家が創業した販売会社であり、安定した販売先の確保に成功している野菜くらぶから、お客様から「欲しい」と言われる仕掛け作りについて学ぶ。	(株)野菜くらぶ 専務取締役 毛利 嘉宏 氏
	15:45～18:00	【グループワーク：気づきについてまとめる】 本日までの学び(気づき)をグループワークでまとめ、グループ単位での発表を通じ全体で共有する。	事務局 (アグリフューチャージャパン)
8/28 (木) 6日目	地域・農村のリーダーに求められる資質について学ぶ(人間力)		
	9:00～10:45	【地域のリーダーに求められる資質について】 「葉っぱビジネス」による地域活性化の成功事例としてメディアでも取り上げられている(株)いろどりの横石社長から、地域のリーダーに求められる資質について学ぶ。	(株)いろどり 代表取締役 横石 知二 氏
	11:00～12:45	【これからの農業経営者に期待する事】 菓子業界のトップメーカー(国産加工用ジャガイモの約半分を使用)で、業績を伸ばしているカルビーをリードしている松本会長から、これからの農業経営者に期待する事について学ぶ。	カルビー株式会社 代表取締役会長兼CEO 松本 晃 氏
	13:45～15:30	【経営計画の発表に向けたアウトプットの練習】 翌日の経営計画発表に備え、効果的なプレゼンテーションの方法等実績あるコンサルタントの持つノウハウについて学ぶ。	公益財団法人 日本生産性本部 経営コンサルタント兼ビジネス講師 石川 歩 氏
	15:45～18:00	【グループワーク：経営計画発表練習】 経営計画の発表についてまずはグループ内、次に受講者全体に向け、発表練習を行う。	事務局 (アグリフューチャージャパン)
8/29 (金) 7日目	経営計画発表と修了式		
	9:00～12:00	【経営計画の発表】 6日間の講義に基づき、受講者自らが実践する農業経営の目的や目標を発表することを通じて 今後の農業経営の方向性を確立を目指す。	事務局 (アグリフューチャージャパン)
	12:00～12:30	【修了式】	



## 講師陣のご紹介

### 嶋崎 秀樹 氏 有限会社トップリバー

会社勤務を経て、1988年佐久青果出荷組合に入社、後に社長就任。2000年農業生産法人「トップリバー」を設立。高原野菜の生産者を組織化しながら、人材育成にも注力し、9年で年商10億円の事業に育て上げる。

### 定方 郷 氏 (株)東武百貨店 取締役 食品部長

東武百貨店池袋本店の食料品売り場(デバ地下)は日本国内最大規模の面積を持ち、毎年開催している「大北海道物産展」等と合わせて来店客から好評を博している。定方取締役は1989年入社。食品部門の売り場担当に始まり、仕入れ、輸入等一通り経験した後、マネージャーとして店舗改装や販売促進のプロジェクに関わり、店舗政策部長・販売促進部長を経て現在に至る。

### 三石 誠司 氏 宮城大学 教授

宮城大学食産業学部フードビジネス学科にて教授を務め、食品・穀物・畜産関連産業に関するグローバルな経営と組織・戦略を中心に講義を行う。穀物需給・取引、遺伝子組換え作物・食品、エタノール等について研究を行っている。

### 笠原 節夫 氏 (有)横浜ファーム 代表取締役

1948年生まれ、神奈川県横浜市出身。1979年(株)八千代ポトリーを設立し、同社代表取締役に就任。97年(有)横浜ファーム代表取締役に就任。12年より八千代ポトリー相談役。公益社団法人日本農業法人協会副会長。神奈川県農業法人協会会長。

### 原田 修 氏 農事組合法人 世羅幸水農園 組合長理事

昭和38年の設立以来、広島県の農事組合法人の先導的経営体として、高い技術力を基本にした赤梨栽培の大規模化・高品質安定生産を成し遂げ、市場からの評価も高く、観光農業等で仲間と共に地域活性化を進める世羅町農業のシンボリック的存在。第43回日本農業賞受賞

### 藤田 毅 氏 フジタファーム 代表取締役

酪農と乳製品加工販売の2法人と、地域の稲作法人を組み合わせ、新しいビジネスモデルを作り上げたWCS(ホールクロップサイレージ)やデントコーン栽培に取組む等、循環型農業を実践している。自家産生乳からジェラート販売等を通じ、地域の活性化と畜産への理解推進に努める。

### 高橋 宏道 氏 パルシステム生活協同組合連合会 事業広報部長(元 産直推進部 部長)

パルシステムは1都9県で活動する生協で構成される宅配サービス。高橋部長はパルシステムの産直部署を歴任し、環境保全型農業をはじめ食料農業政策をさまざまに推進している。農水省の環境保全型農業講師、生物多様性検討委員会委員や6次産業化の検討委員、CO2削減事業や消費者庁の食品ロス削減に関する検討委員等を歴任。有機農業推進する全国組織「アイフォーム・ジャパン」の副理事長も務める。

### 上原 征彦 氏 明治大学専門職大学院 教授

明治大学専門職大学院グローバル・ビジネス研究科にて教授を務め、経営戦略・マーケティングを専門としている。また、食と農林水産業の地域ブランド協議会会長を務める。

### 毛利 嘉宏 氏 (株)野菜くらぶ 専務取締役

大学卒業後、青年海外協力隊にてセネガル共和国に野菜隊員として3年間赴任。赴任前に金子美登氏のもとで有機農業を研修。帰国後、肥料メーカーに営業職で4年間勤務し、平成10年に野菜くらぶに入社。平成22年に専務取締役に就任。

### 横石 知二 氏 (株)いろどり 代表取締役

1958年徳島県生まれ。2007年7月「Newsweek」誌「世界を変える社会起業家100人」に選出される。14年6月、徳島県表彰受賞。著書に「そうだ!葉っぱを売ろう～過疎の町、どん底からの再生～」[生涯現役社会のつくり方](ともにソフトバンククリエイティブ)がある。

### 石川 歩 氏 公益財団法人 日本生産性本部 経営コンサルタント兼ビジネス講師

株式会社パイロットでIT機器のシステム営業、日本生産性本部・映像教育部にて衛星放送番組の映像プロデューサー兼ディレクターを務める。現在、本部経営コンサルタント兼ビジネス講師として、各種事業体のコンサルティング・教育指導に携わる。

### 松本 晃 氏 カルビー株式会社 代表取締役会長兼CEO

カルビー(株)は、かっぱえびせん、ポテトチップス等スナック菓子事業のトップメーカーで、菓子市場が縮小傾向にある中で売り上げを伸ばしている。同社松本会長は、伊藤忠商事(株)、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)等を経て、2009年に同社社長に就任。人の成長を基本に、製造コストの削減等、前例にとられない姿勢で、同社を「儲かる会社」へと改革した。